



結ぶ

12月24日(金)、多くの行事を通して子供たちが成長した2学期が、無事終了しました。そして、その日の午後、生徒会役員によるリーダー研修会を行いました。生徒同士による話し合いや、猪股2学年主任の講義を受け、リーダーとしての自覚をより高めている様子が見られました。後半は、どんな「3年生に贈る会」をするかというテーマでの話し合いでしたが、そのやる気と想いにふれることができ、頼もしく思うのと同時に、うれしい気持ちになりました。

順調にスタートした3学期でしたが、1月26日(水)より、2月10日(木)まで、分散登校になりました。「3年生に贈る会」の取組日程も大きく変更になります。1年生の小学校訪問も映像によるものに変更になったり、3年生の入試を直前にした、緊張しながらもあたたかい卒業間近の独特なクラスの時間も半分になることを思うと、少し切ない気持ちになってきます。

感染症対応に取り組む日も、もう2年になろうとしています。日々の、学校の歩みを止めないための子供たちの努力、保護者の皆さんの気配り、先生方の取組に感謝しています。今回の分散登校も、このコロナ禍において、より学校の歩みを止めないための手段です。この学校便りの裏面に、2学期終業式、3学期始業式の各学年代表の意見発表(抜粋)を載せておきました。2学期スタートの突然の分散登校を、子供たちがいかにのり越え、その経験を東輝祭の成功に結びつけ、充実した2学期にしたのかを思い出します。また、1年のまとめとなる3学期に、子供たちがどれだけの想いをもっているのかが伝わってきます。子供たちの言葉に勇気づけられます。越えられない試練はないのです。

その姿に学びます。分散は何もしなければ半分ですが、何かに取り組めば、1にも2倍にもなります。対面の機会が減るからこそ、繋がることをこころがけましょう。そして、今のような状況を共にのり越えるからこそ、その絆はさらに強いものになるはずです。つながりは、何もしなくてできるものではありません。短い時間に、限られた機会に、意識して「結ぶ」のです。令和3年度の結びに向かって、みんなで進んでいきましょう。



2 学期終業式 各学年代表の意見発表から (抜粋)

東輝祭では、やるべきこともたくさんあったので困惑していました。しかし、クラスの一人一人が与えられた役割に責任を持ち真剣に取り組んでいたのを見て、頑張ることができました。合唱では、皆で合唱をするのが久しぶりだったのでうれしい気持ちでありましたが、同時に良いものを作らなければいけないという責任感などもありました。練習を重ねるうちに先輩方への感謝の気持ちを伝えようという気持ちが強くなり、クラス全体がまとまり成長することができました。 1年4組 矢崎 煌大

東輝祭では、クラスの奇数グループと偶数グループで長縄の回数を競い合ったり、お互いにメッセージ動画を撮影し合ったりしました。時間を共通できるように工夫をし、全員がそろった時は本当にうれしかったです。また、生徒会役員選挙演説会当日、手作りの応援メッセージカードをサプライズでくれたので、演説の前に読んで、とても勇気をもらいました。他の候補者やそれを支える各クラスの存在も大きく、切磋琢磨し、高め合い、学年全体が大きく成長できました。 2年3組 小林 芽依

分散登校という形で始まった2学期。3年生にとっては、「最後の東輝祭はどうなってしまうのか」「修学旅行は中止になってしまうのではないか」といった不安がありました。しかし、一人一人のなんとか開催したいという想いが実り、この両方を行うことができました。3年生のみなさん、あと少し自分の進路に向けて努力し、クラスや学年で一体となり支え合いながら、受験という壁を乗り越え、最後には全員が笑顔で卒業できるよう頑張っていきましょう。 3年3組 上杉 春斗

3 学期始業式 各学年代表の意見発表から (抜粋)

1年生にとって3学期は、とても大切な3ヶ月だと思います。なぜなら、1年生のまとめの時期であり、2年生のゼロ学期でもあるからです。「天まで届け緑の希望～みどりの学年で理想の大樹を創り上げよう～」というスローガンをより向上させるには、さらに全員で協力し、相手のことを考え、理想とする大樹をこえていく必要があります。2年生となる自覚を強く持って、みんなが満足できるような濃い3学期にしていきたいです。 1年5組 安藤 悠心

中学2年生にとって3学期は、中学3年生という未来に繋がる準備期間であると同時に重要な学期です。2年生が主体となって取り組む最初の学校行事である3年生に贈る会では、何のために行い、何を3年生に伝えるのか？ということを通理理解として図っていきたいと思います。私達がこの1年間を通して目指してきた理想の姿を表現できるように、最後まで努力を重ね、学年として大きく成長できた学期にしていきたいです。 2年4組 石井 悠介

受験は自分との戦いです。これまでは青空学年全員で協力し、心を一つにしてきました。最終的にはみんなて固く握った手を離して、自分自身と向き合わなくてはなりません。でも、お互いを高め合うこと、応援し合うこと、ギリギリまで手を固く握り続けることもできます。「受験は団体戦。」まさにこの言葉通りだと思います。受験を終えた後は、「最高学年」や「受験生」と言われていましたが、「卒業生」と言われるようになります。この東中で過ごせる時間を大切に、悔いの残らないような良い形で中学生生活を終わられるようにしたいです。 3年4組 榎本 寧胡